

意欲的にコミュニケーション活動に取り組める生徒の育成

～ 実際の場면을想像したり、疑似体験をしたりできる教材の作成・活用を通して ～

外国語班 林 秀紀 (中学校教諭)

◆研究構想図

目指す生徒像

意欲的にコミュニケーション活動に取り組める生徒

(1) 実際の使用場면을想像できる教材機会の設定

- ① 場面設定の工夫
- ② ICTの有効活用

(2) 似た体験のできる教材の作成・活用

- ① ICT (電子黒板) の有効活用
- ② 自作教材の作成・活用

生徒の実態

小学校の外国語活動ではほとんどの生徒が楽しく、意欲的に活動に取り組んできている。
中学校1年生の1年間に英語の学習に対して意欲が低下してしまう生徒がいる。

◆実践1 実際の使用場면을想像できる教材・機会の設定

改善したスピーチの発表

場面設定の工夫

ワークシート

ALTのご両親への自己紹介のビデオレターの作成

ICTの有効活用

- ・デジタルカメラを使った自己紹介の撮影
- ・3～4人のグループでの鑑賞・アドバイスシートの交換
- ・アドバイスシートを参考にスピーチの完成

グループ活動



黄色の付箋は
よかった点

動画撮影への
意気込み

ピンクの付箋
はアドバイス

緑の付箋は
改善された点



ビデオレター



◆実践2 似た体験のできる教材の作成・活用

自作教材

中の写真が少しずつ見えてくるアルバム教材を生徒一人ひとりが
使用した「Who is this ~ ?」のペアワーク

「Who is ~ ?」の場면을イメージできるようにパワーポイント
を活用し、少しずつ画像を提示



生徒のクイズ

I don't know .
Hint please !

Who is this
woman ?

This is a boy.
He plays golf.
Who is he?

I don't
know .
Hint please!

This is a woman.
She froms Miyagi. But she lives in Osaka.
She doesn't like Kawaii.
She like table tennis.
She is table tennis player.

◆成果と課題

- 実際に英語を使って話さなければならない場面を設定したので、生徒たちは意欲的にコミュニケーション活動に取り組めた。
- 普段なかなか見ることができない自分の姿をデジタルカメラで撮影してその画像を見て自分のスピーチを振り返ったり、ビデオを見た友達のアドバイスを参考にしたりしてよりよい作品を完成できた。
- 電子黒板の活用や生徒全員に手作りの教材を作成することで、同じ活動が一斉にでき、その活動に意欲的に取り組めた。
- ・ デジタルカメラやコンピュータのソフトを生徒が使う上で個人差があり、使う前にはまず、メディア教育が十分に必要である。
- ・ すべての言語材料の導入において、場面設定や教材の作成・活用をする難しい。身近なものを考え活用する必要がある。

◆提言

ICTを有効活用し、実際の場면을思い浮かべられる場面を設定したり、実際の場面に近い体験ができる教材をすべての生徒に用意することで、生徒たちは意欲的にコミュニケーション活動に取り組むようになる。